

平成 30 年度第 1 回「埴町地域公共交通活性化協議会」議事録

日時 平成 30 年 5 月 24 日（木）午後 1 時 30 分
場所 埴町役場防災センター3 階 会議室
出席委員：18 名・オブザーバー：1 名
（別紙のとおり）（進行：吉成課長）

1. 開会（吉成課長）

2. 委嘱状交付

・町長代理で副町長より、代表で「福島交通株式会社 白河営業所長 長田春冶委員」に交付された

3. 会長あいさつ（会長：副町長）

4. 議事

・小松会長が議長となり議事を進めて行った。

（松本主任主事より「協議会について」の説明と報告）

(1) 報告第 1 号 平成 29 年度事業報告について

(2) 報告第 2 号 平成 29 年度収支決算及び会計監査報告について

・報告第 1 号及び第 2 号についてまとめて報告を行い、監事の芳賀とし子委員が会計監査報告を行った。※質問なし

(3) 議案第 1 号 副会長及び監事の指名

・事務局案により副会長に「埴町老人クラブ連合会 会長 木村澄男氏」

監事に「有限会社埴タクシー 代表取締役 鈴木岳氏」、「埴町婦人会 前会長 芳賀とし子氏」を会長が指名し、承認された。

(4) 議案第 2 号 平成 30 年度事業計画（案）について

(5) 議案第 3 号 平成 30 年度収支予算（案）について

・事務局より説明。予算案の前年度予算額と比較の数字に誤りがあり、修正した。

以下質疑応答後異議なしの声により拍手で承認された。

【質疑・応答】

石井久雄委員) なぜタクシー補助事業実証運行の対象地域が高城地区なのか事務局) 過去に笹原地区、常豊地区での実証運行(デマンド)を行ったが、高城地区での実証運行の実績がなかったため実施に向けて話が進んだ。

石井浩委員) タクシー補助事業実証運行の内容で、利用条件が午前7時から午後9時までとなっているがなぜこの時間帯になったのか。

事務局) 今後のグループワークで事業者の方々と運行について協議しながら、具体的な運行時間についての変更含めて決めていきたいが、事務局案として提案し承認いただいたもの。

金澤勉委員) タクシー補助事業実証運行の申請方法の考えは。

事務局) 公共交通を使っている方にわざわざ役場に申請しに来てもらうというのもどうかと思う。事務局が集会所に受付に行くなど申請方法についても今後のグループワークで決めていきたい。

芳賀とし子委員) タクシー補助事業実証運行の予算が200万円で計上されているが、その根拠は。

事務局) 他市町村の先行事例の実施結果を参考にして予算を組み立てた。高城地区の65歳以上の対象者は661人。全対象者の2割(70名)が申請し、実際に使用するのはそこからまた約半分(35人)の利用者という想定をして予算を計上した。

5. その他

- ・平成30年度第1回ワーキンググループを7月2日(月)に開催する。
日時や詳しい内容は別途通知をする。
- ・オブザーバー学校教育課星補佐からスクールバスの運行状況について説明があった。
主に常豊小学校廃校に伴い、復路について常豊地区児童の通学のため埴小学校を經由した路線に変更したとの報告を受けた。(埴厚生病院・出戸線について埴小学校を經由)

6. 閉会 (吉成課長)